

# 学校林を生かした全校活動【森林環境教育】



学校名：釧路管内標茶町立中茶安別小中学校  
 校長名：大崎 治樹 担当名：齋藤 碧

## 1 本校のESDの特徴

本校では、平成24年1月17日にユネスコスクールの認定を受け、『持続可能な開発のための教育＝ESD』を実践するため、地域の森林を素材とした環境教育に重点的に取り組みました。その森林＝学校林のことを、『るんるんフォレスト』と呼んでいます。

本校の学校林活動は、昭和11年にトド松600本が植樹されたことに始まり、その歴史は80年以上に及びます。現在9.7haの学校林を所有し、学校林での様々な体験活動をとおり、環境から学ぶことで自然と共生する心を育み、【今の私達が、学校林を守るためにできることは何か？】を追究しています。

本校のESDの特徴は、①学校林の中で、五感を使って自然とふれあう活動【感じる・遊ぶ・探検する・作る】をとおり、自然への好奇心を育む。②学校林の動植物に興味をもち、探求活動をとおり、自然への理解を深める。③学校林を守り育てる活動をとおり、自分達の手でより良い環境を創り上げる。の3点があります。本校では【50年後の中茶安別が、どうなっていてほしいか？】を子供達が考え、未来予想図を描くことを、今後のESDの基本にしていきます。



本校学校林のシンボル【ツリーハウス】

## 2 環境教育年間活動計画

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
小学校	1・2年	学校林活動 年度始めのオリエンテーション	春の学校林活動 植樹・シエルター設置	春を探しに行こう！ (生活科)		夏季休業↓学校林草刈り 夏の学校林活動 食物連鎖の学習	秋を探しに行こう！ (生活科)	
小学校	3・4年			① 野草観察	② 樹木集め		③きのこ学習	④ツリーイング(木登り体験)
小学校	5・6年							
中学校	A					学校林に関わる探究学習	※令和3年度	
学校	B							
全学年	C							

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
小学校 1・2年	秋の学校林活動 【学校周辺の樹木調査】				冬季休業↓学校林除雪	生活科 総合発表会	今年度の活動反省	
小学校 3・4年			⑤学級 発表会					⑥スノート レッキング (雪上歩行)
小学校 5・6年								↓
中学校 全学年	A B C	分析・レ ポート作 成		総合学 習発表 会				



### 3 具体的な活動事例

#### 【令和3年度…春の植樹活動】

学校林活動を持続可能なものにするため、PTAや地域と協力し毎年春に100本の植樹と、樹木を食害から守るツリーシェルターの設置を継続し、学校林の保全・維持に努めています。



【秋の学校林……学校の樹木調査】



【春の学校林…植樹とツリーシェルター設置】



【秋の学校林…ツリーイングの木登り】

### 4 成果と課題

成果としては、学校林活動による環境教育により、自分達が生活している地域の素晴らしさを発見し、地域に対して誇りをもてるようになってきていることです。アンケートから、『中茶安別の自然が好きである』という回答が全員から返ってきます。課題は、学校林活動を持続可能な学習活動にするために工夫する点です。

また学習指導要領の改訂に合わせて教育課程への位置づけを見直し、教科横断的な視点でカリキュラムを編成しなおすことを課題ととらえています。